

小沢映子 後援会だより vol.23

# 四っ葉のクローバー

ご意見・ご要望はこちらまで



## 小沢映子後援会事務所

〒417-0001 富士市今泉5-6-45

TEL・FAX 0545-52-5299

MAIL eiko@tx.thn.ne.jp

ブログ更新中です。遊びに来て下さいね!



小沢映子

<http://www4.tokai.or.jp/ozawa/>

娘と障がい者専用宿泊施設にて



石丸さんと

「あいさつ」  
故石丸恵美子議員の導きで、富士市の市会議員として15年がたちました。「あんな障害の重い子がいて議員なんてできるの」などの声もあり当初ご心配をおかけしました。障害のある娘は大きな病気を押し続けてくれました。娘の介護歴も33年となりますが、おかげで、ぶれずに活動してこられたと思っております。



誰にでも、自分の力だけではどうにもならないことが必ずあります。今は勝ち組で、自分の力だけで生きていると思っている人でも、いつ、不慮の病気や事故に見舞われるか分かりません。政治は、そのときのためにあります。そんな仕組み作りのために15年間奔走してきました。自分の経験を通して最も弱い命を守る社会は、すべての人が幸せな社会に通ずると自信を持って言えるからです。

**政治は弱い人のためにある!**  
上からの視点では社会の本質は分からない。  
弱い者の立場から社会を見ると見えてくる地平がある。  
社会の本質がわからなければ本当に成熟した社会はつくれない。



オリンピックのキャンプ地誘致のため、副議長としてハンガリーの水泳協会と懇親を深めました。



副議長室にて

昨年、富士市議会の副議長に任ぜられました。これは、今まで力を発揮してきた先輩女性議員たちの、力に負うところも大きいのです。議長長等、対外的な会議も多数あり議会をまとめてゆく責任を感じています。

**富士市議会初の  
女性副議長に**

### なないろの風 県内女性議員を増やす会

県内無党派派の女性議員13名でネットワークを作り、研修会・フォーラム開催、キャリアバン開催、合宿、記者会見、選挙応援等々、パワーアップしながら活発に活動しています。子育て、介護、教育、生活すべての問題が政治とつながっています。なのに政策決定の場には女性が少ないのは、女性たちが安心して子育てを産み育て、自分らしく生きられる仕組みは作れません。女性が生きやすい社会は、男性だつて生きやすいのです。国は女性の政治参画の必要性を計画に盛り込みました。「政治に多様な民意を反映させる観点から極めて重要」とあります。富士市での女性の活躍応援して下さい。政策決定の場で女性の視点が重要なのです。



花戸医師  
など生活の中での問題もみえてきます。生活全般を支えようとすると医師だけではなく、看護師、薬

### ヘルプマーク

ヘルプマークを知っていますか？  
援助が必要な方のためのマークです。



義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など外見から分からなくても、援助や配慮を必要としている方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成したマークです。静岡県も富士市も積極的に導入を決めました。



### 地域丸ごとケア 〜地域共生社会に〜

これからは多死の時代が音を立てて迫ってきています。自分たちが望む最期をどこで、どう迎えるのか？ 病院死が8割という、生まれるのも病院、死ぬのも病院と言う「病院の世紀」が続いています。この死ぬ時も病院と言う事が、本当にこれでいいのだろうか？ 多くの医療機器に囲まれた死ではなく、穏やかに、出来ればお世話をしてくれる人に囲まれて人間らしく息を引き取りたいと思うのは誰しもの願いではないでしょうか。

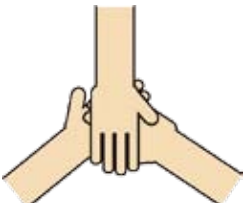


東近江市の診療所長 花戸医師『訪問診療をおこない始めて感じたことは、医師の役割が病院とは全く違うということでした。病院では医療だけを行なっていればよかったのですが、家では病気だけではなく、移動や着替え、食事、排泄など生活の中での問題もみえてきます。生活全般を支えようとすると医師だけではなく、看護師、薬

剤師はもちろん、歯科医師、栄養士、そして介護スタッフなど、多様な職種連携が必要だということを実感しました。普段から顔の見える関係になれるよう医療や介護の専門職が集まる会議を、月に一度、定期的に開くようにしました。実際の現場でさらにわかったのは、先ほど述べた専門スタッフだけではなく、家族やご近所さん、友人、ボランティアなど専門職以外の人達も大きな役割を果たしているということでした。

### 地域共生社会

公的な福祉は、サービスを充実させるにも限界があります。少子高齢化が進む中で、支援を必要とする高齢者が増え続け、支え手となる現役世代は減る一方だからです。そうした中で打ち出されたのが、地域共生社会という考えです。公的な福祉サービスだけに頼るのではなく、地域に暮らす人たちが共に支えあい、課題を解決する力を再構築しようというものです。そうした地域の在り方について、厚労省の検討会が「我が事」と「まるごと」をキーワードに提言をまとめました。



★若者の悩みについて一緒に考えます!

若者相談窓口 ココ☆カラ

ニート・ひきこもりなどの悩みを抱えた若者の相談窓口です。「働きたいけど自信がない」「コミュニケーションが苦手な社会に出るのが怖い」「学校に行くことができない」などの悩みについて一緒に考えます。

若者相談窓口では、若者の悩みに寄り添いながら、居場所の提供や家族の支援等様々な活動をしています。

- ◆場所 / 富士市教育プラザ1階(住所:富士市八代町1番1号)富士警察署北側 岳南電車ジヤトコ前駅より徒歩2分
- ◆開所日・時間 / 火曜日～土曜日 午前9時～午後5時
- ◆連絡先 / 電話:0545-55-0562 メールアドレス:f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

不登校・ひきこもり 「教育機会確保法」不登校対策は

学校現場で深刻な状況が続いている不登校者数は126千人。富士市には300人近くの不登校の子どもたちがいます。不登校の子どもたちの支援を進めることを目的にした「教育機会確保法」が、新たに施行されました。不登校の子どもたちは、基本的に学校に行かなかったり、行けなかつたりする状態が続いています。こうした子どもたちが教育を受ける機会を確保するための法律です。不登校は、どこの家庭でも起きうる事です。「休んでもよい」ということ。「学校以外の場の重要性」を認めたことです。この2つのキーワードを活かすことが子どもたちを取り巻く環境を変えることにつながります。「不登校の子どもたちが安心して学べる環境を作り上げる」ような連携が求められています。フリースクール、居場所、夜間中学などの試みが始まっています。



ユニバーサル就労相談窓口

- ◆暮らし・しごと相談窓口 (富士市フィランセ東館1階) 電話:0545-64-6969
- ◆生活支援課(市役所4階) 電話:0545-55-2886



ユニバーサル就労は、さらに一歩進んで、これまでの支援ではなかなか仕事に就くことができなかつた方々に、働く場を開拓したり、その方の状況に合わせて少しずつステップアップする独自の働き方を取り入れて、新しい方法で支援します。全国で初めて議員提案でユニバーサル就労の推進条例もできました。

ユニバーサル就労

これまで働く場を見つけれなかった方でも働けるようになるしくみです。

憲法については、政治と国民とが等しく議論を重ねることが本来、必要なはずですが、正当に憲法を改正する必要があるのか。私たちがしつかりと判断するためにも、もつと憲法を知り、幅広く議論できるようにすることが、求められるのではないのでしょうか。

堅苦しく考えないで是非小沢映子にお声をかけて下さい。



国民も憲法を考え議論する機会を

小沢映子にお気軽にお声をかけて下さい

LGBT

LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーなどの性的少数者)は、13人に1人と言われ決して少なくありません。社会の無理解や偏見が、心に大変深い傷を負わせています。

発達障害児者

本人は一生懸命なのに、怠けていると言われたり、空気が読めないうざい奴と思われたり、まわり人たちの無理解のため苦しい毎日を送っている方が多くいます。正しい理解をすることで、発達障害を持つ人は生きやすくなります。

LGBTと発達障害についての理解をしてほしいのです。ミニ出前講座をやりませう。少人数の集まりなどで気軽にお声をかけて下さい。



ロングヒット!  
ドキュメンタリー映画  
「普通に生きる」  
上映会開催

2011年、「普通に生きる」というドキュメンタリー映画が誕生しました。口コミで評判を呼んで全国で上映会が開催されています。「足を運んで、見たら、必ず心に響くものがある、障害者だけでなく、その家族に対する考え方も変わる」「たくさん涙がこぼれました。そしてとても温かい気持ちになりました。」「言葉にならない位の深い感動を覚えました。人は存在していること自体が素晴らしいことをあらためて感じさせてくれました。等々数えきれない感想が寄せられています。映画の舞台となった富士市「でら〜と」での上映会には是非とも足を運んでください。

6月24日(日)は、字幕付の上映ですので、耳の聞こえづらい方でも楽しめます。

長編ドキュメンタリー映画/SD/カラー/83分

©2011/製作・著作・配給: マザーバード

<http://www.motherbird.net/tikuru>



撮影・プロデューサー: 貞末麻理子

構成・編集: 洪 祖貴

制作補: 梨木かおり

ナレーター: 長谷川初範

もし、私に何かあったら  
この子はどうなるの？

# 普通に生きる

静岡県富士市にある生活介護事業所「でら〜と」の取り組みを5年にわたって記録したドキュメンタリー映画



6月23日 土 13:30~ 18:00~

6月24日 日 10:00~ 13:30~

上映開始時間

入場無料

駐車場あり

■開場/各上映30分前 上映時間/86分

■主催/「普通に生きる」上映実行委員会 会長 鳥居 巖

お問い合わせ

TEL 0545 (52) 5299 (小沢)

会場 でら〜と(生活介護施設) 富士市伝法86-3

富士山かくや姫ミュージアム(富士市立博物館)東側